

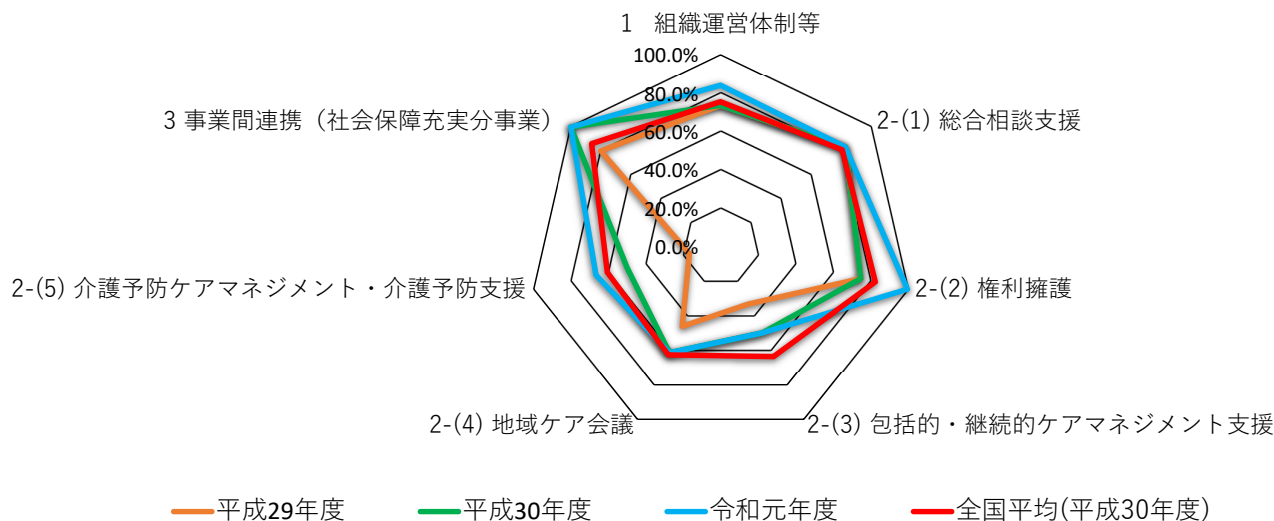
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、市町村の「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 73.7% | 73.7% | 84.2% | 75.6% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 83.3% | 81.1% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 75.0% | 75.0% | 100.0% | 82.8% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 33.3% | 50.0% | 50.0% | 63.7% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 46.2% | 61.5% | 61.5% | 62.7% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 16.7% | 50.0% | 66.7% | 60.6% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 80.0% | 100.0% | 100.0% | 86.1% |



1. 小牧市の評価結果

- ・「総合相談支援」の項目においては、29、30年度ともに全国平均を上回っており、令和元年度まで現状を維持しています。
- ・「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」の項目については、介護支援専門員が持つ課題などの情報収集及び地域包括支援センターへの情報提供ができていないことから評価が低くなっており、包括職員を含めた、介護支援専門員への支援が課題となっています。
- ・「地域ケア会議」の項目については、令和元年度から多職種と連携した自立支援型のケースカンファレンスを実施し、個別事例を通して、自立支援・重度化防止について取り組んでいますが、ケースカンファレンスを含めた地域ケア会議の在り方や仕組みが確立できていないことから評価が低くなっており、課題となっています。

2. 運営協議会からの意見等

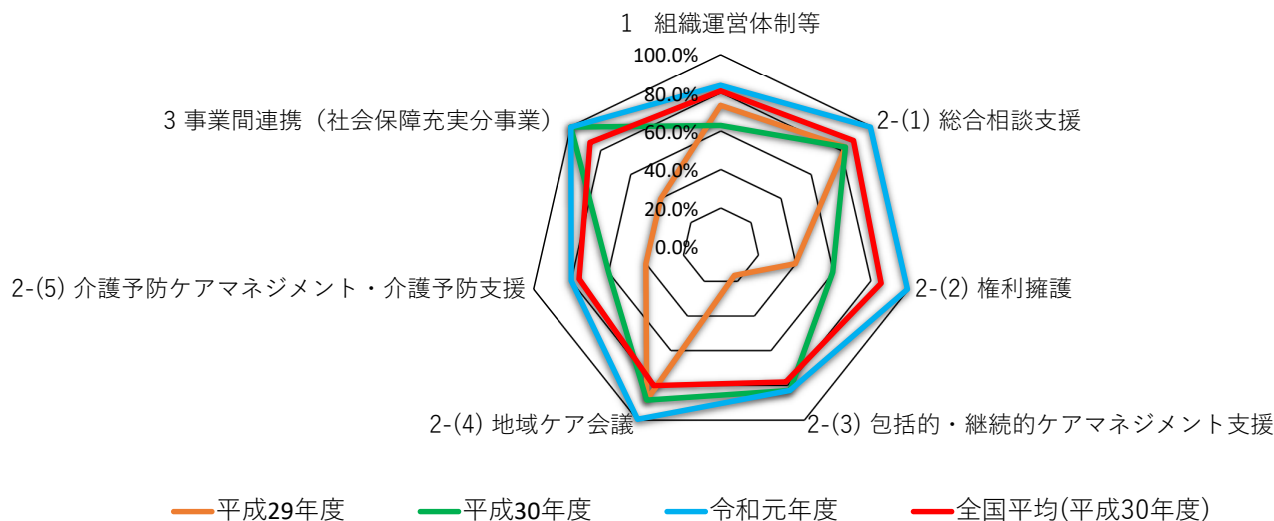
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 73.7% | 63.2% | 84.2% | 81.3% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 100.0% | 88.7% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 40.0% | 60.0% | 100.0% | 85.9% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 16.7% | 83.3% | 83.3% | 78.4% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 88.9% | 88.9% | 100.0% | 80.5% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 40.0% | 60.0% | 80.0% | 75.8% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 40.0% | 100.0% | 100.0% | 87.2% |



1. 南部地域包括支援センターケアタウン小牧の評価結果

- ・開設当初の平成29年度は、全体的に全国平均を下回っていましたが、平成30年度、令和元年度と着実に評価を伸ばしています。
- ・特に地域への認知度を高めながら、地域に入っていくことで実践されている「地域ケア会議」の項目については、平成29年度から令和元年度まで、全国平均を上回るほどの実績を積んでいます。
- ・令和元年度の評価からは、総合的にバランスよく事業が実施できています。
- ・開設から3年経ち様々な取り組みの形、他機関・多職種との関係性などが形成されてきた頃だと思えます。今後も継続した取り組みに期待します。

2. 運営協議会からの意見等

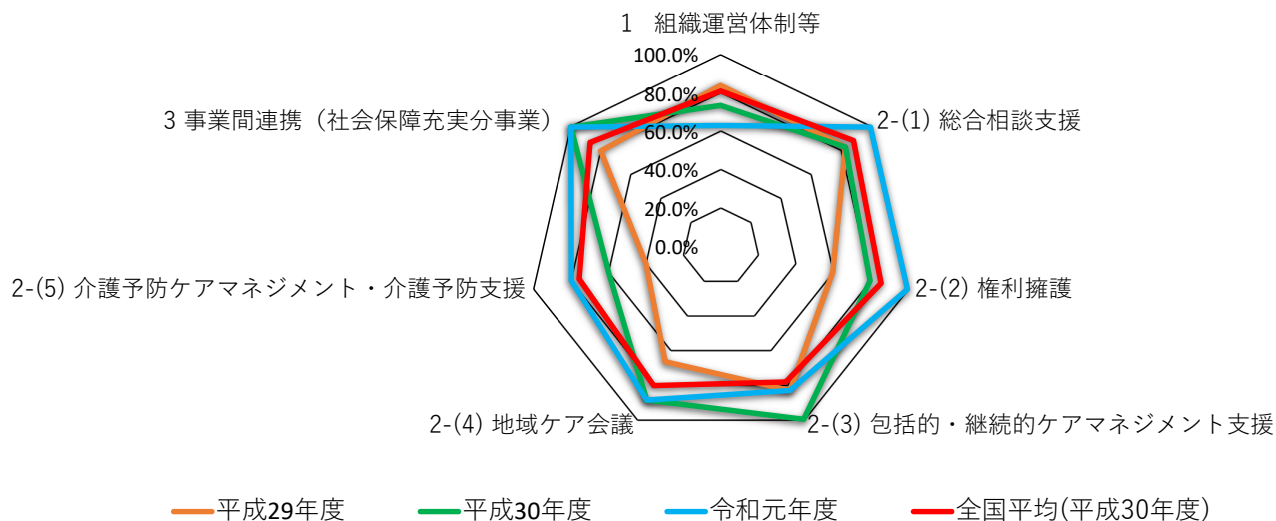
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 84.2% | 73.7% | 63.2% | 81.3% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 100.0% | 88.7% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 60.0% | 80.0% | 100.0% | 85.9% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 83.3% | 100.0% | 83.3% | 78.4% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 66.7% | 88.9% | 88.9% | 80.5% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 40.0% | 60.0% | 80.0% | 75.8% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 80.0% | 100.0% | 100.0% | 87.2% |



1. 小牧地域包括支援センターふれあいの評価結果

- ・平成29、30年度ともに「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」が伸び悩んでおりましたが、令和元年度では、バランスよく事業が実施できました。
- ・「組織運営体制等」の項目では、人員確保がなかなかできなかったことから評価が低くなりました。
- ・また、小牧包括は、2圏域を担当し、2圏域合わせた高齢者人口も多く、人口に伴い職員数も必要となります。職員数が多くなると、職員間の連携や情報周知、伝達も重要になっていきますので、包括内の連携体制の維持に期待します。

2. 運営協議会からの意見等

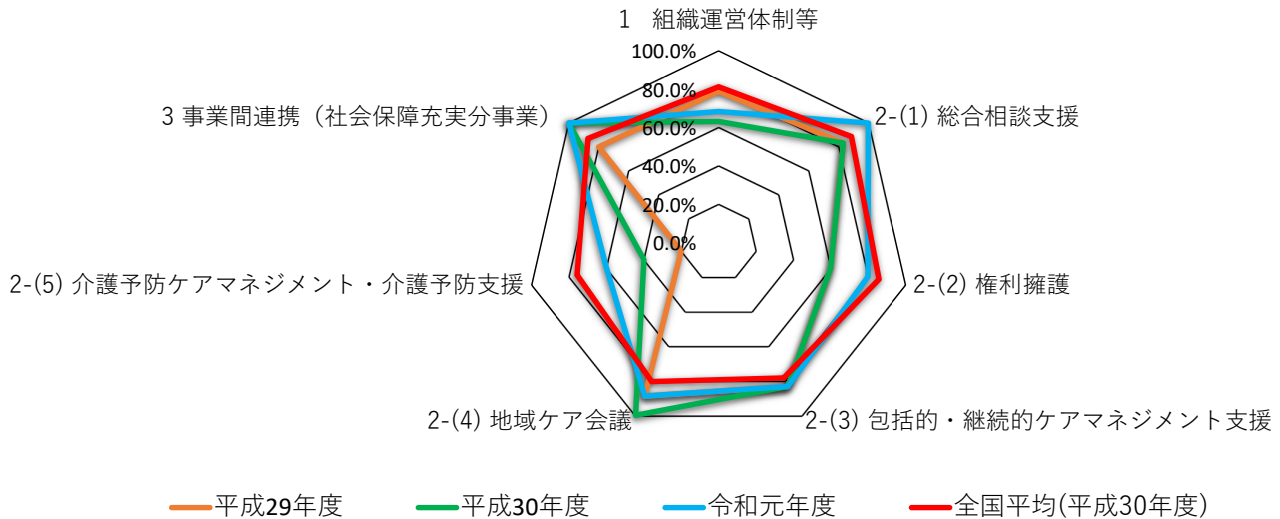
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 78.9% | 63.2% | 68.4% | 81.3% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 100.0% | 88.7% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 60.0% | 60.0% | 80.0% | 85.9% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 83.3% | 83.3% | 83.3% | 78.4% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 88.9% | 100.0% | 88.9% | 80.5% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 20.0% | 40.0% | 60.0% | 75.8% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 80.0% | 100.0% | 100.0% | 87.2% |



1. 味岡地域包括支援センター岩崎あいの郷の評価結果

- ・全体の取り組みとしては、概ね、前年度よりも高い評価となっています。
- ・「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」については、平成29、30年度とも全国平均よりも低い評価となっていました。令和元年度の評価は伸びています。
- ・「組織運営体制等」は、人員における評価の仕方の関係で低くなっていますが、人員については、確保できています。
- ・他の項目よりも評価が低くなっている項目に対する取り組みに期待します。

2. 運営協議会からの意見等

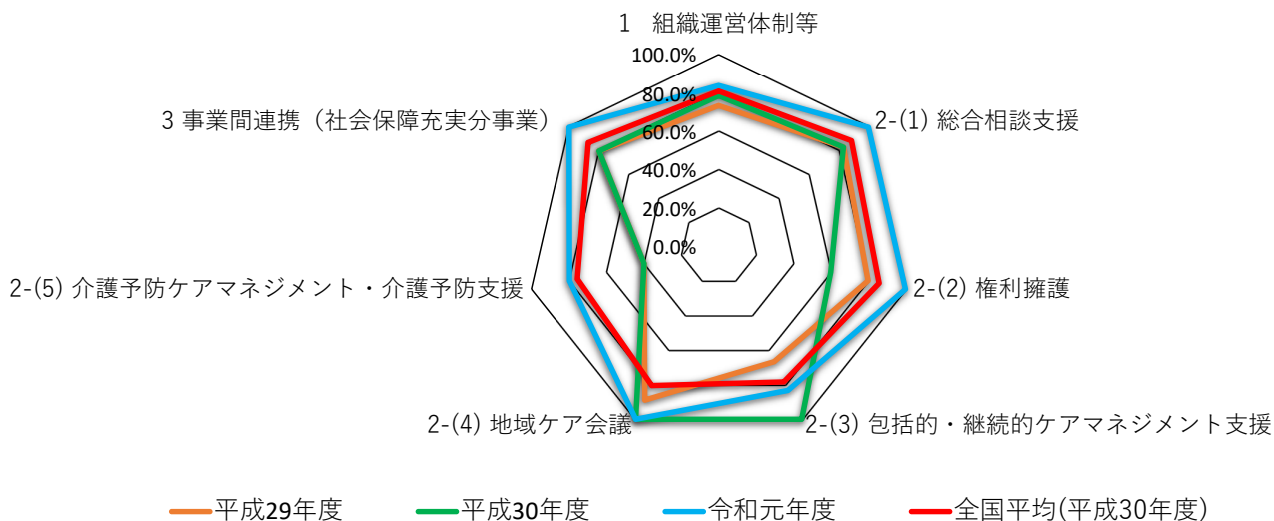
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 73.7% | 78.9% | 63.2% | 81.3% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 100.0% | 88.7% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 80.0% | 60.0% | 80.0% | 85.9% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 66.7% | 100.0% | 50.0% | 78.4% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 88.9% | 100.0% | 100.0% | 80.5% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 40.0% | 40.0% | 80.0% | 75.8% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 80.0% | 80.0% | 100.0% | 87.2% |



1. 篠岡地域包括支援センター小牧苑の評価結果

- ・「包括的・継続的ケアマネジメント支援」の項目について、平成30年度に比べ半分まで評価が下がっています。これは、組織運営体制における人員確保の点で、評価が下がっていることにも連動していると考えられます。
- ・篠岡地区は、高齢化率も高く、高齢者数が6圏域の中でも1番多くなっていることから、人員確保は、地域の住民や介護支援専門員の支援に対して、重要な要素であります。
- ・他の地域包括支援センターにも通じると思いますが、安定した組織運営体制を望みます。

2. 運営協議会からの意見等

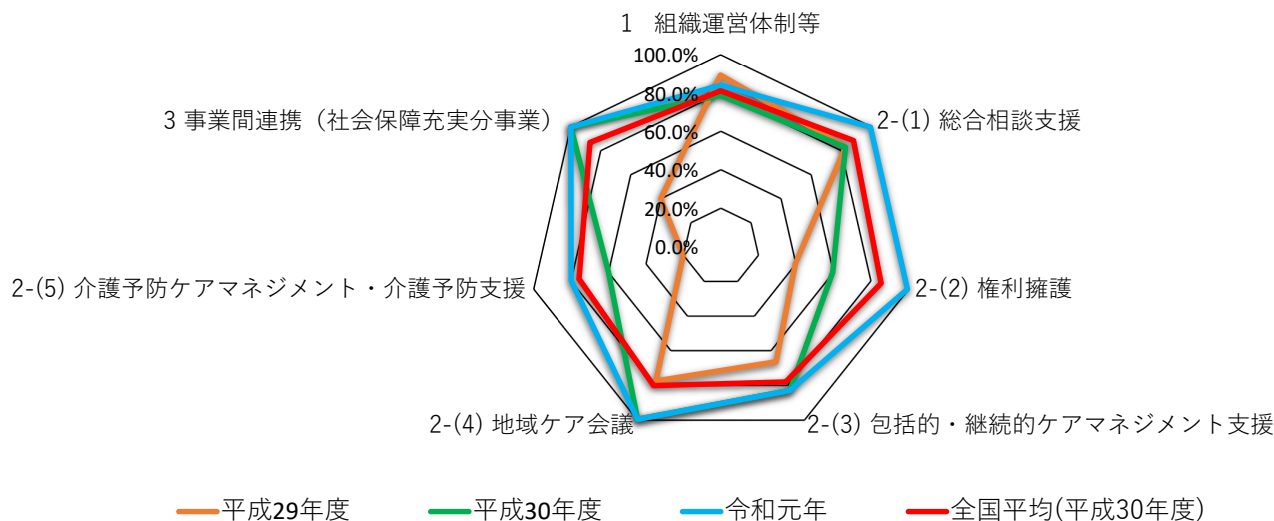
■レーダーチャートについて■

○レーダーチャートに示されている「7項目」の数値は、「1.業務チェックシート」にて入力した評価設問の平均値です。

○例えば、『2 個別業務』の「2-(1) 総合相談支援業務」6の設問に対し、「○」の付いた設問が4か所ある場合は、「2-(1) 総合相談支援」の平均値は4/6=66.7%（小数点2位を四捨五入）となります。

○レーダーチャートの数値を確認し、全国の状況と比較することで、センターの「特徴」が確認できます。

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 全国平均 (平成30年度) |
|-----------------------------|--------|--------|--------|------------------|
| 1 1 組織運営体制等 | 89.5% | 78.9% | 84.2% | 81.3% |
| 2 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 83.3% | 100.0% | 88.7% |
| 3 2-(2) 権利擁護 | 40.0% | 60.0% | 100.0% | 85.9% |
| 4 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 66.7% | 83.3% | 83.3% | 78.4% |
| 5 2-(4) 地域ケア会議 | 77.8% | 100.0% | 100.0% | 80.5% |
| 6 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 20.0% | 60.0% | 80.0% | 75.8% |
| 7 3 事業間連携（社会保障充実分事業） | 40.0% | 100.0% | 100.0% | 87.2% |

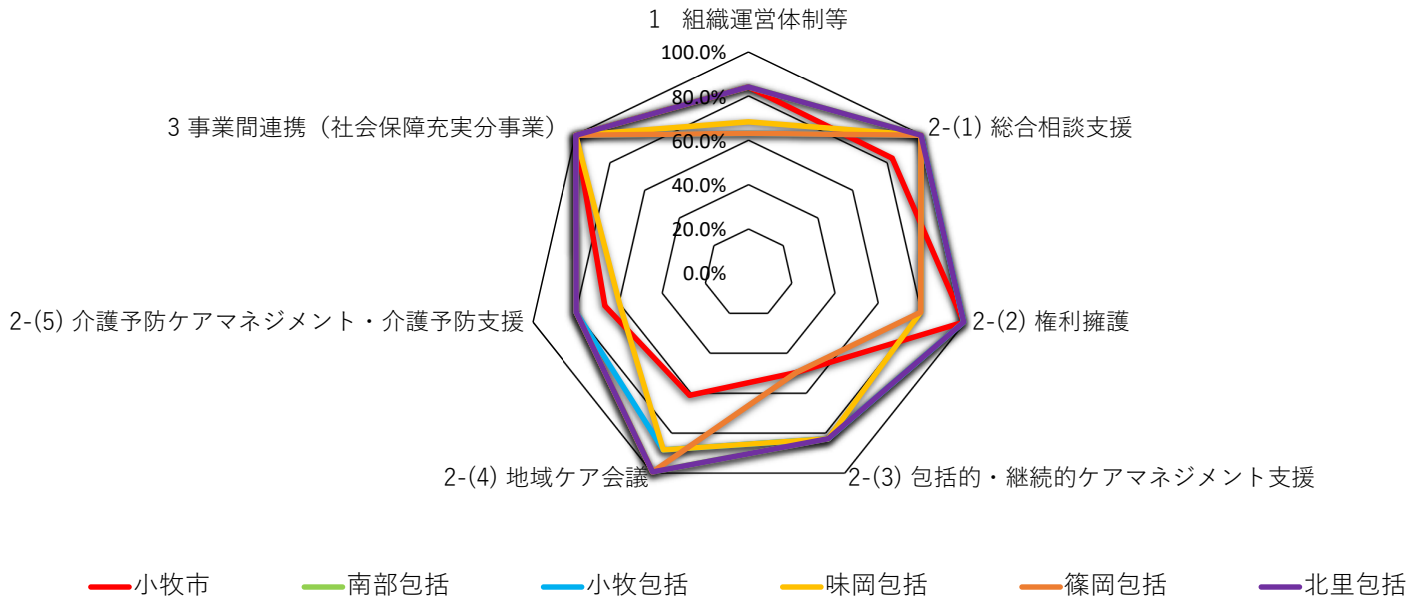


1. 北里地域包括支援センターゆうあいの評価結果

- ・平成29年度は、「介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」や「事業間連携」などの評価が低く偏っていましたが、徐々に評価が上がり、令和元年度では、全体的にバランス良く事業を実施できました。
- ・すべての項目において評価が、前年度と同等もしくは上回っていることから、引き続き、各事業に取り組んでいただくことを期待します。

2. 運営協議会からの意見等

| 令和元年度(平成31年) | | 小牧市 | 南部包括 | 小牧包括 | 味岡包括 | 篠岡包括 | 北里包括 |
|--------------|---------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1 | 1 組織運営体制等 | 84.2% | 84.2% | 63.2% | 68.4% | 63.2% | 84.2% |
| 2 | 2-(1) 総合相談支援 | 83.3% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |
| 3 | 2-(2) 権利擁護 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 80.0% | 80.0% | 100.0% |
| 4 | 2-(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 | 50.0% | 83.3% | 83.3% | 83.3% | 50.0% | 83.3% |
| 5 | 2-(4) 地域ケア会議 | 61.5% | 100.0% | 88.9% | 88.9% | 100.0% | 100.0% |
| 6 | 2-(5) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援 | 66.7% | 80.0% | 80.0% | 60.0% | 80.0% | 80.0% |
| 7 | 3 事業間連携 (社会保障充実分事業) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% |



1. 令和元年度の評価結果の比較

- ・ 包括間での大きな評価の差はあまりみられません。
- ・ 市の評価と差がある「地域ケア会議」については、個別ケア会議・地域レベルでのケア会議・市レベルでのケア会議における仕組みや実施体制が十分ではないことが伺えました。
- ・ 組織運営体制の中でも人材確保は、最も重要な課題であると考えますが、長く仕事を続けていくことができるような事務の簡素化などにも取り組んでいく必要があります。
- ・ 「事業間連携」においては、市・全包括ともに100%の評価となっています。今後も、この状態を維持できるよう努めていきます。

2. 運営協議会からの意見等